

平成30年度

愛媛大学

森林環境管理学リカレントコース
(特別課程)

受講生募集要項

愛媛大学大学院農学研究科

目 次

開設の背景・目的	1
I. 総合コース	
(1) 募集人員	2
(2) 出願資格・要件	2
(3) 出願手続	2
(4) 選抜方法	3
(5) 試験の期日及び場所	3
(6) 合格者発表	3
(7) 受講手続及び受講料	3
(8) 留意事項	3
(9) プログラムの概要	3
II. 系列コース	
(1) 募集人員	4
(2) 出願資格・要件	4
(3) 出願手続	4
(4) 選抜方法	5
(5) 合格者発表	5
(6) 受講手続及び受講料	5
(7) 留意事項	5
(8) プログラムの概要	5
III. 自由選択コース	
(1) 募集人員	6
(2) 出願資格・要件	6
(3) 出願手続	6
(4) 受講の可否	6
(5) 受講手続及び受講料	6
(6) 募集期間を限定しない募集	7
(7) プログラムの概要	7
IV. 各コース志願者共通事項	
(1) 出願書類記入上の注意事項	8
(2) 個人情報の取扱について	8
(3) 本リカレントコースに関する問い合わせ先	8

開設の背景・目的

戦後植林した国内の森林資源は充実しつつあるが、木材価格の長期にわたる低迷・下落の結果、森林所有者の経営意欲は著しく減退傾向にある。その結果、日本における森林管理の担い手の弱体化が進行し、管理放棄森林の激増、森林境界の不明確化、不在村所有者の増加等、森林管理水準の低下は憂慮すべき段階にある。森林管理の問題点としては木材価格問題以外に、ア) 森林所有の零細・分散性(スケールメリットが活かない)、イ) 基盤整備及び機械化の停滞、ウ) 森林所有者の協同組織である「森林組合」の脆弱性、エ) 関係行政のリーダーシップ不足等が挙げられ、このままでは森林管理は危機段階に到達すると予想される。このような状況に至ると、森林が適切に管理されていなければ発生しない災害、例えば、ア) 土壌流亡、イ) 土砂流出、ウ) 水資源枯渇、エ) 森林倒伏、オ) 獣害等が発生する危険性が高まり、環境面でも大きな影響が出る恐れがある。しかし自然環境をベースにした様々な取組に多くの人々が興味をもち、法制度も森林・林業・木材産業にも向けられ始めたこともあり、新しい発想に立てば新産業の創出、森林ビジネスのチャンスともいえる。これらに対応できる人材は、従来の森林管理技術だけでなく、高度に発達した森林管理技術、新たな考え方、社会の動きを身に付けておく必要がある。

そこで、愛媛大学は、愛媛県及び高知大学と連携し、精密森林・森林環境・木材の高度品質管理、高性能森林管理機械に関する知識と技術等を修得した森林管理技術者を養成する社会人リカレントコース(大学院課程相当・1年コース)を、平成23年度に開設しました。

本コースには、「総合コース」、「系列コース」、及び「自由選択コース」の3種類のコースがあります。「総合コース」は、120時間(10単位分)以上の履修により「履修証明書」を交付します。「系列コース」は、基礎系列に加えて系列1から系列5のいずれかの系列の履修により当該系列の「修了証明書」を交付します。「自由選択コース」は、原則として履修・修了証明書の交付を前提とせず、受講科目を自由に選択できるコースです。

これらの3コースでは、受講生選抜方法・受講方法などが異なりますので、詳細については本募集要項を確認してください。

I. 総合コース

1. 募集人員

5人程度

2. 出願資格・要件

(1) 出願資格 次のいずれかに該当すること。

- ① 大学を卒業，又は大学院を修了し，現に森林林業・林産業・建築等関係の職にある者
- ② 現に森林林業・林産業・建築等関係の職にあり，実務経験が豊富で大学を卒業した者と同以上の学力があると農学研究科長が認めた者
- ③ 上記のほか，特に農学研究科長が認めた者

(注) 1) 上記②及び③のいずれかに該当する者は，事前に出願資格認定を行いますので，平成30年2月13日（火）までに農学部学務チーム「森の国事務局」へ照会してください。

2) 本コースは，社会人を対象とした森林管理技術者を養成するコースのため，出願資格を限定しております。

(2) 要件 次の2つの条件に該当すること。

- ① 本コース修了後，森林管理技術者として森林管理，木材利用などを通して地域への貢献意欲を有する者
- ② 本コースに合格した場合，受講を確約できる者

3. 出願手続

受講志願者は出願書類等を一括して，出願期間内に出願書類提出先まで「速達・簡易書留郵便」で郵送してください。直接持参しても受理しないので，注意してください。

(1) 出願期間

平成30年2月19日(月)から3月2日(金)まで（当日日本国内発信局消印有効）

(2) 出願書類等送付先

愛媛大学農学部学務チーム「森の国事務局」

〒790-8566 松山市樽味3丁目5番7号 TEL (089)946-9806

(3) 出願書類等

書類等	摘要
受講志願票	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの
受験票・写真票	本学所定の用紙に必要事項を記入し，写真（出願3か月以内に撮影した上半身，無帽，正面向き）を所定の箇所に貼ったもの
志望理由書	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの
キャリア履歴書	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの
業績書	出願資格②，③に該当する者は，本学所定の用紙に必要事項を記入したもの
志願者名票	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの
返信用封筒 (受験票送付用)	本学所定の封筒に自己のあて先を明記し，372円分の切手を貼ったもの

4. 選抜方法

面接の結果及び提出された出願書類の内容により、総合的に判定します。

5. 試験の期日及び場所

期 日	時 間	試験内容	場 所
3月10日(土)	10:00～	面 接	愛媛大学農学部

6. 合格者発表

平成30年3月19日(月) 午前10時

本人に可否結果を通知し、合格者に合格通知書等を送付します。

電話等による可否結果の照会には一切応じません。

7. 受講手続及び受講料

(1) 受講手続期間 平成30年4月2日(月)から4月6日(金)まで

(2) 受 講 料 89,000円

8. 留意事項

森林環境管理学リカレントコース(特別課程)総合コースの履修期間は原則1年です。

ただし、職業を有している等の事情に応じて、最長2年まで履修期間を認める長期履修制度があります。本制度の適用希望者は受講手続期間中に農学部学務チーム「森の国事務局」へ申し出てください。

9. プログラムの概要

(1) 学習の特徴

- ・総合コースは、森林・林業の基礎を身に付けた上で、多くの科目系列にまたがって受講・履修し、幅広い森林環境管理知識を修得します。
- ・多くの科目は大学院と同日程で集中講義形式での開講とします。現場での実習・演習をできるだけ取り入れるため複数の授業を久万高原町の久万高原キャンパスで開講します。
- ・愛媛大学・高知大学の教員、愛媛県職員及び林業の専門家を講師とし、林業技術の高度かつ実践的な取組を学びます。
- ・基本的に平日開講としますが、科目によっては、土日に開講する場合があります。

(2) 修了の要件と履修証明書

下記(3)に示す開講科目のうち、必修科目である「森林・林業概論(含実習)」及び「地域資源管理論」を含め、120時間(10単位分)以上を履修した者には、学校教育法第105条(大学等の履修証明制度)に基づく「履修証明書」を交付します。

(3) 開講科目

森林・林業概論(含実習)、地域資源管理論、精密森林管理論、*林業GISの初歩と実例、森林広域計測(含実習)、森林認証概論(含実習)、野生動物被害防止論(含実習)、森林生態系論(含演習)、路網設計論(含実習)、林業機械論、施業管理と安全衛生(含実習)、森林関係行政論、地域林業論(含演習)、*森林施業管理論、林業マネジメント論、木材工学特論(含実習)、木材利用論、木造建築概論、木材流通論

(注) *印は隔年開講(平成30年度は開講なし)

(4) 養成するスキル

①精密森林管理、②森林環境、③森林作業、④森林管理組織、⑤森林資源利用

(5) 成績評価 各授業科目のシラバスに評価方法を明記し、それに基づき評価を行います。

II. 系列コース

1. 募集人員

5人程度

2. 出願資格・要件

(1) 出願資格 次のいずれかに該当すること。

- ① 大学を卒業，又は大学院を修了し，現に森林林業・林産業・建築等関係の職にある者
- ② 現に森林林業・林産業・建築等関係の職にあり，実務経験が豊富で大学を卒業した者と同等以上の学力があると農学研究科長が認めた者
- ③ 上記のほか，特に農学研究科長が認めた者

(注) 1) 上記②及び③のいずれかに該当する者は，事前に出願資格認定を行いますので，平成30年2月13日（火）までに農学部学務チーム「森の国事務局」へ照会してください。

2) 本コースは，社会人を対象とした森林管理技術者を養成するコースのため，出願資格を限定しております。

(2) 要件 次の2つの条件に該当すること。

- ① 本コース修了後，森林管理技術者として森林管理，木材利用などを通して地域への貢献意欲を有する者
- ② 本コースに合格した場合，受講を確約できる者

3. 出願手続

受講志願者は出願書類等を一括して，出願期間内に出願書類提出先まで「速達・簡易書留郵便」で郵送してください。直接持参しても受理しないので，注意してください。

(1) 出願期間

平成30年2月19日(月)から3月2日(金)まで（当日日本国内発信局消印有効）

(2) 出願書類等送付先

愛媛大学農学部学務チーム「森の国事務局」

〒790-8566 松山市樽味3丁目5番7号 TEL (089)946-9806

(3) 出願書類等

書類等	摘要
受講志願票	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの
受験票・写真票	本学所定の用紙に必要事項を記入し，写真（出願3か月以内に撮影した上半身，無帽，正面向き）を所定の箇所に貼ったもの
志望理由書	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの
キャリア履歴書	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの
業績書	出願資格②，③に該当する者は，本学所定の用紙に必要事項を記入したもの
志願者名票	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの
返信用封筒 (受験票送付用)	本学所定の封筒に自己のあて先を明記し，372円分の切手を貼ったもの

4. 選抜方法

提出された出願書類の内容により選考します。

5. 合格者発表

平成30年3月19日(月) 午前10時

本人に可否結果を通知し、合格者に合格通知書等を送付します。

電話等による可否結果の照会には一切応じません。

6. 受講手続及び受講料

(1) 受講手続期間 平成30年4月2日(月)から4月6日(金)まで

(2) 受講料 8,900円 (1単位につき)
ただし、10単位分以上受講する場合は、89,000円

7. 留意事項

森林環境管理リカレントコース(特別課程)系列コースの履修期間は1年です。

8. プログラムの概要

(1) 学習の特徴

- ・系列コースは、森林・林業の基礎を身に付けた上で、各人が選択した系列ごとの科目を受講・履修し、森林環境管理知識を修得します。
- ・多くの科目は大学院と同日程で集中講義形式での開講とします。現場での実習・演習をできるだけ取り入れるため複数の授業を久万高原町の久万高原キャンパスで開講します。
- ・愛媛大学・高知大学の教員、愛媛県職員及び林業の専門家を講師とし、林業技術の高度かつ実践的な取組を学びます。
- ・基本的に平日開講としますが、科目によっては、土日に開講する場合があります。

(2) 修了の要件

下記(3)に示す開講科目のうち、基礎系列(必修)に加えて系列1から系列5のいずれかの系列を履修した者には、当該系列の「修了証明書」を交付します。

(3) 開講科目

- 基礎系列 森林・林業概論(含実習)、地域資源管理論
系列1 精密森林管理論、*林業GISの初歩と実例、森林広域計測(含実習)
系列2 森林認証概論(含実習)、野生動物被害防止論(含実習)、
森林生態系論(含演習)
系列3 路網設計論(含実習)、林業機械論、施業管理と安全衛生(含実習)、
系列4 森林関係行政論、地域林業論(含演習)*森林施業管理論、林業マネジメント論
系列5 木材工学特論(含実習)、木材利用論、木造建築概論、木材流通論

(注)*印は隔年開講(平成30年度は開講なし)

(4) 養成するスキル

- ・系列1：精密森林管理、系列2：森林環境、系列3：森林作業、系列4：森林管理組織、
- ・系列5：森林資源利用

(5) 成績評価 各授業科目のシラバスに評価方法を明記し、それに基づき評価を行います。

Ⅲ. 自由選択コース

1. 募集人員

特になし

2. 出願資格・要件

(1) 出願資格

高等学校以上又は中等教育学校以上を卒業した者

(2) 要件

本コースに合格した場合、受講を確約できる者

3. 出願手続

受講志願者は出願書類等を一括して、出願期間内に出願書類提出先まで「速達・簡易書留郵便」で郵送してください。直接持参しても受理しないので、注意してください。

(1) 出願期間

平成30年2月19日(月)から3月2日(金)まで(当日日本国内発信局消印有効)

(2) 出願書類等送付先

愛媛大学農学部学務チーム「森の国事務局」

〒790-8566 松山市樽味3丁目5番7号 TEL (089)946-9806

(3) 出願書類等

書類等	摘要
受講志願票	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの
受験票・写真票	本学所定の用紙に必要事項を記入し、写真(出願3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向き)を所定の箇所に貼ったもの
志望理由書	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの
キャリア履歴書	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの
志願者名票	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの
返信用封筒 (受験票送付用)	本学所定の封筒に自己のあて先を明記し、372円分の切手を貼ったもの

4. 受講の可否

提出された出願書類の内容により選考し、受講の可否を通知します。

5. 受講手続及び受講料

(1) 受講手続期間

平成30年4月2日(月)から4月6日(金)まで

(2) 受講料

8,900円(1単位につき)

ただし、10単位分以上受講する場合は、89,000円

6. 募集期間を限定しない募集

自由選択コースでは、特に募集期間を限定せず、受講希望科目の開講2か月前まで随時受付を行っております。所定の出願期間を過ぎてから受講を希望する場合は、出願書類等を一括して、受講希望科目の開講2か月前までに「速達・簡易書留郵便」で郵送してください。直接持参しても受理しないので、注意してください。なお、出願資格・要件、出願書類等については、出願期間内の募集方法と同様です。

7. プログラムの概要

(1) 学習の特徴

- ・自由選択コースは、総合・系列コースのような枠にとらわれることなく、開講科目から自由に選択して受講・履修します。
- ・多くの科目は大学院と同日程で集中講義形式での開講とします。現場での実習・演習をできるだけ取り入れるため複数の授業を久万高原町の久万高原キャンパスで開講します。
- ・愛媛大学・高知大学の教員，愛媛県職員及び林業の専門家を講師とし，林業技術の高度かつ実践的な取組みを学びます。
- ・基本的に平日開講としますが，科目によっては，土日に開講する場合があります。

(2) 開講科目

森林・林業概論(含実習)，地域資源管理論，精密森林管理論，*林業GISの初歩と実例，森林広域計測(含実習)，森林認証概論(含実習)，野生動物被害防止論(含実習)，森林生態系論(含演習)，路網設計論(含実習)，林業機械論，施業管理と安全衛生(含実習) 森林関係行政論，地域林業論(含演習)，*森林施業管理論，林業マネジメント論，木材工学特論(含実習)，木材利用論，木造建築概論，木材流通論

(注)*印は隔年開講(平成30年度は開講なし)

(3) 成績評価 各授業科目のシラバスに評価方法を明記し，それに基づき評価を行います。

IV. 各コース志願者共通事項

1. 出願書類記入上の注意事項

(1) 出願書類の記入にあたっては、各用紙の注意事項をよく読んで、黒のボールペンを使用して正確に記入してください。記入間違いの場合は、間違えた箇所に二重線を引き、その上に正しく記入してください。

(2) 各出願書類記入上の注意事項

【志願票】

表面に必要な事項を記入するとともに、裏面の受講科目欄には、受講する科目に○印を記入してください。

【志望理由書】

志望動機、学力、学業成績以外の卓越した能力、社会活動の実績、特技等を記述した、500字程度の内容であること。例えば、これまでの活動の自己分析、社会活動の参加状況とその成果等について具体的に記述してください。

【キャリア履歴書】

職歴、学歴、キャリアに関する自己PRについて、それぞれ具体的に記入してください。

【業績書】

総合コース及び系列コースの出願資格・要件②又は③に該当する者は、業績書用紙の記入要領を参考に記入してください。

(3) 出願書類受理後は、原則として、出願書類の記入内容の変更は認めません。

(4) 募集要項の請求方法

募集要項の請求は、封筒に「森林環境管理学リカレントコース受講生募集要項請求」と朱書きし、返信用封筒（角形2号の封筒に、郵便番号、住所、氏名を明記し、250円分の郵便切手を貼ったもの）を同封の上、愛媛大学農学部学務チーム「森の国事務局」（〒790-8566 松山市樽味3丁目5番7号）あてに請求してください。

2. 個人情報の取り扱いについて

本学では、提出された出願書類に記載された氏名、住所等の個人情報は、本学における出願の事務処理、出願書類等に不備があった場合の連絡、試験実施、合格者発表、合格した場合の受講手続関係書類の送付等のために利用します。

なお、出願書類等に不備があった場合には、その訂正・補完を迅速に行っていただくため、本学を受験すること及び提出した出願書類等に不備があることを、志願者の自宅に連絡する場合があります。

また、同個人情報は、合格者の受講手続完了後に関する業務及び調査・研究（選抜方法の改善や志願動向の調査・分析等）を行う目的をもって本学が管理します。

他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。

3. 本リカレントコースに関する問い合わせ先

愛媛大学農学部学務チーム「森の国事務局」

〒790-8566 愛媛県松山市樽味3丁目5番7号

TEL・FAX (089)946-9806

e-mail: morinokuni@agr.ehime-u.ac.jp

URL : <http://morinokuni.agr.ehime-u.ac.jp>

案内図

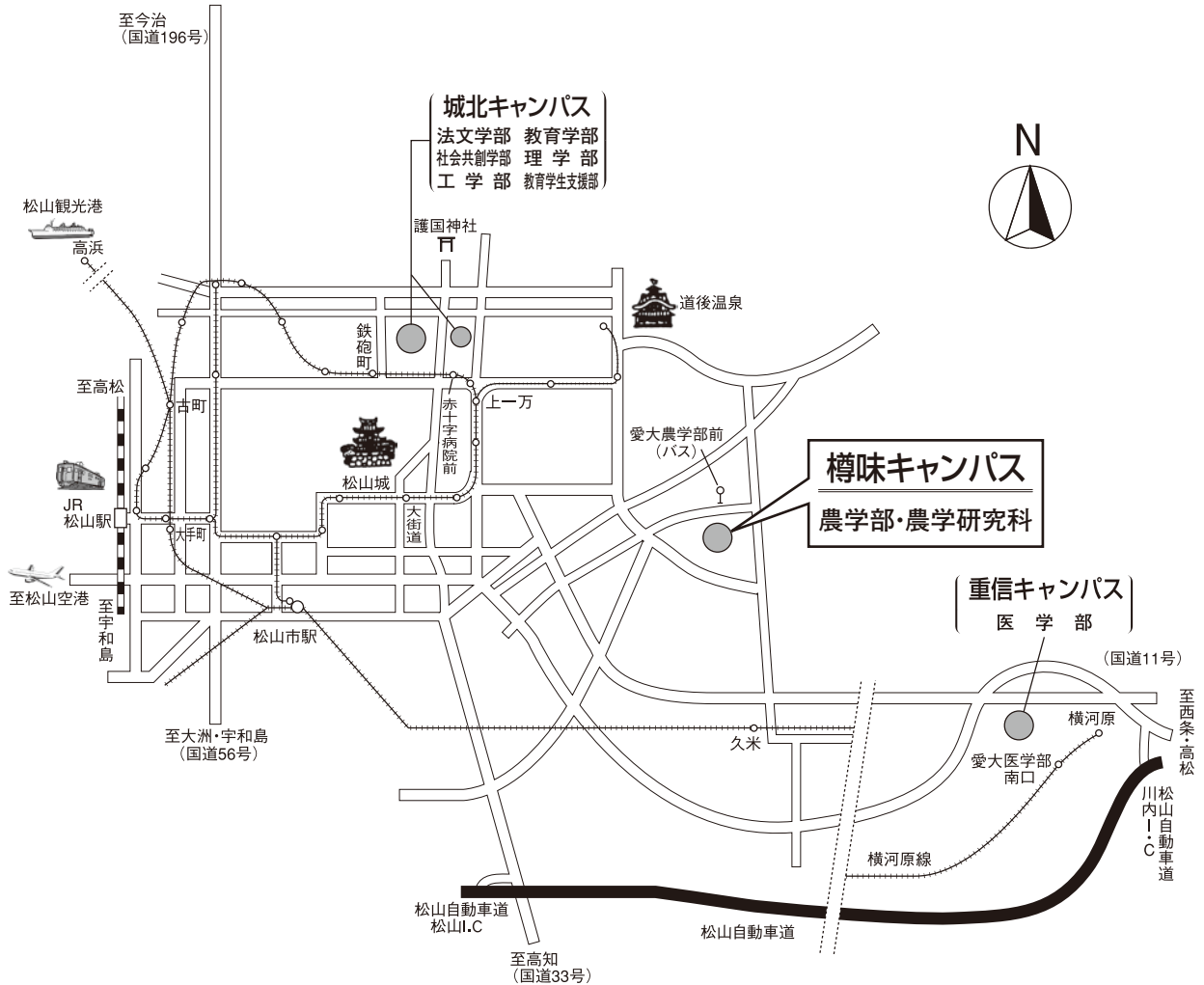
交通機関案内

農学研究科

伊予鉄バス ⑧番線(東野経由) 道後温泉駅前行き愛大農学部前下車

〔JR松山駅前―松山市駅前―千舟町―新立―愛大農学部前―道後温泉駅前〕

(注) バスの運行時刻については、受験者各自が確認してください。(特にJR松山駅前発着便は少ないので注意してください。)



(注) 電車、バス等の運行時刻については、受験者各自が確認してください。

各種交通機関 ホームページ

●JR四国 <http://www.jr-shikoku.co.jp/>
●伊予鉄道 <http://www.iyotetsu.co.jp/>

●松山観光港 <http://www.kankoko.com/>
●松山空港 <http://www.matsuyama-airport.co.jp/>